

会 議 要 旨

会議名称	令和4年度第1回加古川市環境市民会議
開催日時	令和4年6月28日（火）午前10時から正午まで
開催場所	加古川市役所南館（旧勤労会館）302 会議室
出席者	<p><委員>（出席者：14名）（敬称略） グループめだか：守家 はりまシェアリングネイチャーの会：石田 播磨ぼかし研究会：石堂 前川建設株式会社 専務取締役：前川 水辺に学ぶプロジェクト：畠山 行常しあわせの森づくり協議会：藤本 大阪ガスネットワーク株式会社 兵庫事業部 地域コミュニティ室 副課長：池部 加古川市環境保全研究会：松井 関西電力送配電株式会社兵庫支社 担当部長：五反田 公益財団法人ひょうご環境創造協会 兵庫県地球温暖化防止活動推進センター 環境創造部次長兼温暖化対策第1課長 事務局次長：金谷 兵庫県立農業高等学校農業環境工学科 教諭：大村 加古川市環境部 次長：新濱 兵庫大学現代ビジネス学部 教授：竹川 特定非営利活動法人気候ネットワーク 上席研究員：豊田</p> <p><事務局>（出席者：7名） 環境部 部長 竹中 加古川市環境部環境政策課 課長 福山 加古川市環境部環境政策課 副課長 藤本 加古川市環境部環境政策課 環境政策係長 畑 加古川市環境部環境政策課 環境政策係 高橋・松本</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 会長挨拶3 報告事項<ol style="list-style-type: none">（1）令和4年度の各委員の活動予定について（2）加古川市ゼロカーボンシティ宣言について

	<p>(3) 環境活動の中でできるカーボンニュートラルに向けた取組について</p> <p>(4) 市内におけるカーボンニュートラルへの取組についての意見交換</p> <p>(5) かこがわ eco フェスタ開催（案）について</p> <p>4 閉会</p>
配付資料	<p>1 加古川市環境市民会議委員名簿</p> <p>2 令和4年度の各委員の活動予定について</p> <p>3 加古川市ゼロカーボンシティ宣言について</p> <p>4 環境活動の中でできるカーボンニュートラルに向けた取組について</p> <p>5 かこがわ eco フェスタ開催（案）について</p> <p>6 加古川市ゼロカーボンシティ宣言</p> <p>7 加古川市環境市民会議に関する要綱</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 令和4年度の各委員の活動予定について 委員同士の連携を目的とし、令和4年度の環境活動予定について情報を共有した。</p> <p>〈各委員の主な活動予定内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加古川市消費者協会 定例理事会、各地区啓発、チラシ・啓発グッズの配布、消費者学習会、コンシューマーひろば発行 ・グループめだか 緑のカーテン用ゴーヤー種まき・配布、夏野菜植付け、親子環境教室（リユース工作・環境すごろく・パネル展示）、紙芝居、イベント出展 ・はりまシェアリングネイチャーの会 総会、研修会、フォローアップセミナー、保育園や公民館でのネイチャーゲーム ・播磨ぼかし研究会 EM 活性液培養・投入、緑のカーテン用ゴーヤー等の育苗・提供、園児・児童と野菜の植え付け・収穫、小学校プールで清掃、小学校で段ボールコンポスト ・前川建設株式会社 事務所周辺の清掃、事務所からでる紙のリサイクル、本社周辺のボランティア活動、事務所の節電、事務所庭に花の植え付け ・水辺に学ぶプロジェクト 海浜植物・河川敷在来植物の保全活動、干潟の生物調査、研修会・総会、地域課題検討会 ・行常しあわせの森づくり協議会

登山・遊歩道・側溝・竹林・里山整備、植栽、ハンモック・ターザンブランコ整備、森のクラフト会運営、トライやるウィークの樹林、竹林整備の指導、森フェス、花樹等の施肥・剪定・下草刈り

- ・大阪ガス株式会社
エコ・クッキング
- ・加古川市環境保全研究会
研修会、環境講演会、視察研修会
- ・関西電力送配電株式会社
関西電力グループ環境月間、営業所周辺の清掃、夏休みエネルギーエコ教室
- ・兵庫県地球温暖化防止活動推進センター
COOL CHOICE 広報啓発、うちエコ診断、再生可能エネルギー相談支援センター、省エネ・蓄エネ支援事業、地球温暖化防止活動推進員活動支援、エコ暮らし相談会
- ・兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課
地球と共生・環境の集い 2022、地球温暖化防止活動推進連絡会総会、地域循環共生圏の創出を担う人材育成事業、脱炭素×SDGs オーガナイザー育成プログラム、脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現に向けた国際フォーラム、ひょうごユース eco フォーラム
- ・兵庫県立農業高等学校
小学校での環境教育、緑のカーテン普及啓発事業
- ・加古川市
(環境政策課)
かんきょう出前講座、エコ暮らし相談会、緑のカーテン、エコドライブキャンペーン、節電キャンペーン、環境マネジメントシステム実地審査、段ボールコンポスト配布
(学校教育課)
環境体験事業、環境学習、クリーンアップキャンペーン
- (2) 加古川市ゼロカーボンシティ宣言について
気候危機と言うべき気候変動の現状を重く受け止め、長期的な視点で、市民・市民活動団体・事業者・学識経験者・行政が一丸となって、脱炭素に向けた様々な取組を進め、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を実現し、環境先進都市を目指すことを目的とし、令和4年2月22日に加古川市ゼロカーボンシティ宣言を表明したことについて報告した。
- (3) 環境活動の中でできるカーボンニュートラルに向けた取組について
- ・グループめだか
緑のカーテン啓発活動、親子環境教室（リユース工作・環境すごろく・パネル展示）やイベント出展による生活の中での環境配慮の啓発活動。
- ・はりまシェアリングネイチャーの会
カーボンニュートラルに向けた取組について、会議の中で取り上げている。
- ・播磨ぼかし研究会

小学校やこども園、若年層などを対象に作物栽培を通じた環境教育を実施。

・前川建設株式会社

顧客へのZEHやZEB、壁面・屋上緑化の提案。

・水辺に学ぶプロジェクト

海浜植物・河川敷在来植物の保全活動、干潟の生物調査、研修会・総会、地域課題検討会

・行常しあわせの森づくり協議会

登山・遊歩道・側溝・竹林・里山整備、植栽、ハンモック・ターザンブランコ整備、森のクラフト会運営、トライやるウィークの樹林、竹林整備の指導、森フェス、花樹等の施肥・剪定・下草刈り

・大阪ガス株式会社

エコ・クッキング

・加古川市環境保全研究会

研修会、環境講演会、視察研修会

・関西電力送配電株式会社

関西電力グループ環境月間、営業所周辺の清掃、夏休みエネルギーエコ教室

・兵庫県地球温暖化防止活動推進センター

COOL CHOICE 広報啓発、うちエコ診断、再生可能エネルギー相談支援センター、省エネ・蓄エネ支援事業、地球温暖化防止活動推進員活動支援、エコ暮らし相談会

・兵庫県農政環境部環境管理局温暖化対策課

地球と共生・環境の集い2022、地球温暖化防止活動推進連絡会総会、地域循環共生圏の創出を担う人材育成事業、脱炭素×SDGsオーガナイザー育成プログラム、脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現に向けた国際フォーラム、ひょうごユース eco フォーラム

・兵庫県立農業高等学校

小学校での環境教育、緑のカーテン普及啓発事業

・加古川市

(環境政策課)

かんきょう出前講座、エコ暮らし相談会、緑のカーテン、エコドライブキャンペーン、節電キャンペーン、環境マネジメントシステム実地審査、段ボールコンポスト配布

(学校教育課)

環境体験事業、環境学習、クリーンアップキャンペーン

(4) 市内におけるカーボンニュートラルへの取組についての意見交換

・行常しあわせの森づくり協議会

(竹林整備の際に発生する伐採後の竹の処理について質問への回答)

竹については、粉碎処理後に竹林に散布するほか、土砂崩れ等の防止のために積み上げるなどの処理をしている。他に事例として、淡路島の景観園芸学校と、大建工

業が協力し、竹チップを混ぜた DW ファイバーという園芸素材の研究をしていると聞いている。

- ・ 関西電力送配電株式会社

(電力供給のひっ迫が懸念されている中で電気自動車が増えることに問題は無いかとの質問への回答)

電力需給については、予断を許さぬ状況にある。無理のない範囲での節電をお願いしたい状況である。こうした中で、急にすべての自動車が電気自動車に変われば、電力不足となる可能性はある。電気自動車の普及に合わせて、徐々に国全体の供給力及び送配電のネットワーク構築を進めていく必要がある。

- ・ 特定非営利活動法人気候ネットワーク

(上記回答に関係した意見)

電気自動車は蓄電池として機能する部分があり、太陽光発電でカバーされない夕方から夜間にかけての電力需要のピークを押し下げる可能性がある。自動車の走行量自体は減らしながら、その中で必要なものを電気自動車に置き換えるという考え方をとると良いのではないかと思う。

- ・ 公益財団法人ひょうご環境創造協会

(中小企業に対する支援情報発信についての質問への回答)

新たにウェブサイトを立ち上げ、再エネ 100 パーセントに向けた中小企業支援の仕組みづくりを行っていくこととしている。

- ・ 兵庫大学

(これまでの討議についての意見、提案等)

行政は行政として、事業者は事業者とした議題にしたほうが、議論がより活性化すると思う。他方、兵庫大学では、学生のボランティア参加への体制が整いつつある。環境活動に関して、ぜひ連絡をもらえたらと思う。

- ・ 加古川市環境政策課

(兵庫大学の提案に関して)

兵庫大学と環境部は、今年度からフードドライブの取組を積極的に進めることとしている。兵庫大学の学生ボランティア支援もいただきながら、進めていく予定である。

- ・ 水辺に学ぶプロジェクト

(意見、提案等)

加古川市としてゼロカーボンシティ宣言を表明した以上は、その将来像が必要となると思う。加古川市のワクワクするような環境の未来像を考えたとき、加古川市の

地理を見ると、北部には農業地域、南部には工業地域がある。そして、農業地域の中では、これからのスマート農業、緑肥作物での脱炭素や、地域課題を解決していくような、地域地消のエネルギーのモデルが進んでいくと思う。南部の工業地域では水素の活用等、ワクワクした未来像をこの市民会議だけではなく、市民も参加したワークショップを設けてはどうかと思う。

・グループめだか

(意見等)

マイボトルや自転車の利用、太陽光を付けるなど、いろいろな努力を個人がしているところですが、さきほどのワクワクした未来像のような個人ではできないところをしっかりと市にリードしていただきたい。

・加古川市環境部

(これまでの意見を受けて)

将来像については、我々としても模索し、検討を進めている。緑肥や地産地消についても、協力を得なければ難しいところであり、ご意見いただいた内容で何ができるのか、将来も含めて、考えていきたい。その一方、カーボンニュートラルを進めていくには、市民一人一人がやろうということにならないと、行政が進めるだけではなかなか達成は難しいものと考えている。それを実現していくのは、委員の皆様を通して、市民が「自分が変わらないと世の中は変わっていかない」という考えをもつことだと考える。委員の皆様には日々の啓発・活動を進めていただきたく、お願い申し上げます。

(5) かこがわ eco フェスタ開催 (案) について

加古川市内で活動する市民活動団体・企業を中心に、環境問題に取り組む団体が集まり、展示や体験コーナーを通じて、市民を対象とした環境啓発を実施すると同時に、団体間での交流を促進することを目的とした、かこがわ eco フェスタ開催 (案) について報告した。

4 閉会

以上